

# 令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立恵曇小学校)

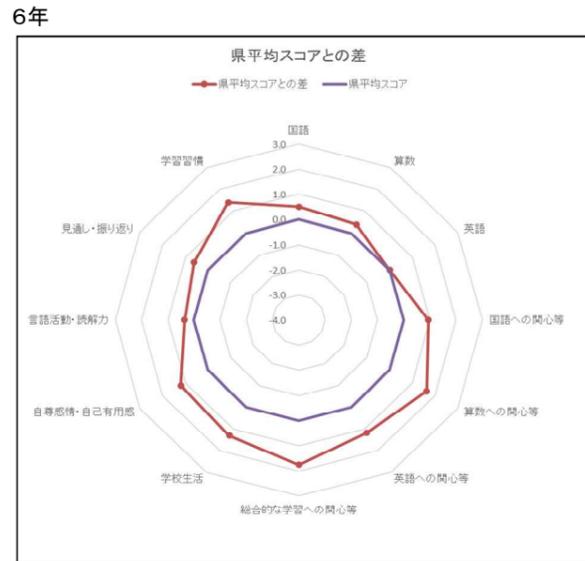
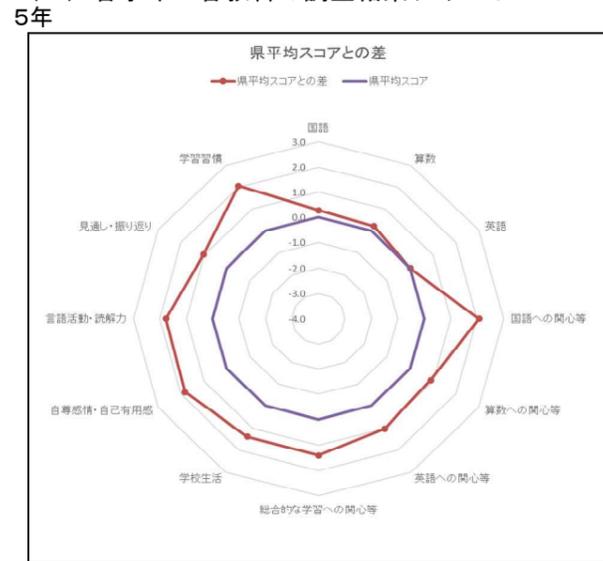
## (1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○短答式、選択式の設問や、「読む」領域の問題では正答率が高く、文章の内容理解が概ねできている。 ●記述式の設問、書く領域、活用問題に課題がある。 ●目的に応じて読む力、目的に応じて書く力に課題がある。	・複数の資料を関係づけて読み取る形式の問題に取り組む。 ・読書を奨励するとともに、言葉を使った短文作り、熟語の意味調べ、用語の意味の確認などを繰り返し行い、語彙を豊かにしていく。
	算数	○くり返し取り組んだ問題は、取り組みの成果が出ている。 ●算数の正しい用語を使って表現する力が弱い。 ●小数の乗法の仕組みの理解に課題がある。	・発表の際、算数的な正しい用語を使って説明ができるように指導する。 ・図をかいて考える指導を続ける。 ・図を使って自分の考えを伝える指導を続ける。
6年	国語	○漢字の書き取りや、ローマ字など基本的学習内容が身につけている。 ●同音異義語については正答率が低い。 ●意味段落に分けたり、資料を正しく読み取りそれをもとに説明したりなど、長文ややや複雑な記述の文を正しく読み取ることが必要な問題は正答率が低い。	・読書や、漢字の書き取り練習や、日々の書く活動で漢字の意味を考えて書く習慣をつけるなど、語彙を増やす学習や経験を積む。 ・誰もが正しく読み取る学習を行う。「構造と内容の把握」、「精査・解釈」を大切に授業を行う。
	算数	○小数や分数を使った基礎的な計算はほぼ身につけている。 ○公式を正しく覚え、それを使って問題を解くことができている。 ●割合の意味理解が十分ではない。 ●記述式の正答率が低い。	・相手がわかりやすい説明を身につけるための活動を取り入れる。 ・「文章問題は図を書いて考える」という活動を継続する。

## (3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○学習に関しては、意欲を持ってしっかり取り組んでいる。 ●学習意欲の面では肯定的回答が県平均を大きく上回っているが、算数を「わかる」という理解度については県平均との差がない。	・「わかる」授業を継続して目指すとともに、個別指導を充実させる。
	家庭学習に関わる事項	○家庭学習にしっかり取り組んでいる。平日1時間以上学習する児童の割合は県平均よりも高い。 ●メディア接触や携帯電話・スマートフォンの使用は少ないが、個別に指導が必要な児童がいる。	・家庭でのメディア接触について指導が必要な児童には、家庭での時間の使い方など個別に指導する。
6年	授業改善に関わる事項	○学習に関しては、意欲を持ってしっかり取り組んでいる。 ●友達と話し合うことにやや抵抗感を持っている児童が一部いる。	・お互いに、認め合い、安心して話せる人間関係作り、学級づくりをする。
	家庭学習に関わる事項	○家庭学習にしっかり取り組んでいる。平日1時間以上学習する児童の割合は県平均よりも高い。 ●メディア接触や携帯電話・スマートフォンの使用は少ないが、個別に指導が必要な児童がいる。	・家庭でのメディア接触について指導が必要な児童には、家庭での時間の使い方など個別に指導する。

## (2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	64	63
	松江市	61	60
	島根県	60	58

受検者数  
5年生 13人

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	60	67
	松江市	52	60
	島根県	51	59

受検者数  
6年生 11人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

## (4) 生活・学習に関する意識調査の結果

